

中間市こども計画策定に係るアンケート調査 実施内容（案）について

1. 各種調査の目的、対象等について【下記の表参照】

2. 調査の時期及び期間
令和6年9月上旬から 2週間程度

No.	調査名	関係する計画	調査の目的	調査の対象	調査の方法
1	こども計画策定に係る市民アンケート調査	①、②、⑤、⑥	教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況とニーズ（計画①に関する量の見込み）を把握する。学童保育の利用意向をはじめ、こどもの居場所に関する現状と今後の需要等を把握する。	就学前児童の保護者（全数）	就園児、小中学生は、学校や保育所等を通じて、QRコードを貼付した依頼文書を配布し、WEB上で回答。 未就園児は、郵送により同一の依頼文書を送付し、WEB上で回答。
				小学生の保護者（全数）	
				小学5年生から中学3年生までの保護者（全数）	
2	こどもの生活に関する意識調査（保護者用）	③、④	子育て家庭の生活実態・意識を把握する。	小学5年生から中学3年生までの保護者（全数）	
3	こどもの生活に関するアンケート調査（こども用）	③、④、⑥	こどもの生活実態・意識を把握する。	小学1年生から小学3年生までの児童生徒（全数）	
				小学4年生から小学6年生までの児童生徒（全数）	
				中学1年生から中学3年生までの児童生徒（全数）	
4	若者の生活に関する調査	③、④、⑥	若者の生活実態・意識を把握する。	15～39歳の市民（2,000人を無作為抽出）	郵送によりQRコードを貼付した依頼文書を送付し、WEB上で回答
5	子育て支援サービス提供事業者（調査票A）	①、②、④	教育・保育事業の運営状況や課題、事業展開の予定、支援ニーズ等を把握する。	市内の保育所等（認定こども園、小規模保育所、認可外届出施設）、幼稚園	調査票を電子メールにより送付し回答
6	子育て・教育関係団体（調査票B）	①、②、③、④、⑥	こどもの支援にかかわる団体の活動内容や活動上の課題、支援者側の視点でみたこどもや子育て環境の状況等について把握する。	子育て支援団体（市ボランティアセンター登録団体）、社会福祉協議会、学童保育所、こども食堂事業者、母子寡婦福祉会（学習支援）、若者支援事業者（市民生活相談センター、福岡若者サポートステーション、若まど（福岡県若者自立相談窓口））、障がい児支援事業者（児童発達支援センターいっぽ）、主任児童委員 等【予定】	
グループヒアリング（こどもワークショップ）			当事者であるこどもの意見をこども計画に反映させるため、あらかじめ決められたテーマについて、一緒に考え、意見交換を行う。	検討中	2回実施予定

※表中の「関係する計画」の表記について
①子ども・子育て支援事業計画 ②次世代育成支援行動計画 ③子ども・若者計画 ④子どもの貧困対策計画
⑤母子保健を含む成育医療等基本方針に基づく計画 ⑥こどもの居場所づくり推進